

千葉県 学校支援ボランティアだより

第5号 学校支援地域本部版

2016. 11. 11 発行：千葉県 地域による学校支援活動推進委員会



千葉県では、地域ぐるみで子供を育む環境作りのため、「学校支援地域本部」の活動をサポートしています。「学校支援地域本部を立ち上げるには」「活動についてのQ&A」として、実際に「学校支援地域本部」の活動をスタートするための情報を紹介します。

◆学校支援地域本部を立ち上げるには◆

市町村が行うこと

○運営委員会を設置します。

運営委員会は、活動のルール（要綱）の作成や、実施プログラムの検討、安全対策の検討、コーディネーター等を対象とした研修会などを行います。メンバーとしては、社会教育主事、学校関係者、統括・地域コーディネーター、市町村担当者など、学校支援地域本部に関係する方が参加しています。既存の組織等をもって代替することもできます。

○コーディネーターを配置します。

コーディネーターは学校と地域のパイプ役として、事業の企画、ボランティアの受け入れ計画の作成、活動についての相談、広報活動などを行います。学校や地域のことをよく理解している人がよいでしょう。いまコーディネーターになっている人は、PTA 経験者や退職教員、地域からの推薦者、民生・児童委員、ボランティア活動等の経験者、公募等で選ばれた方々などです。

コーディネーターが決まったら

○学校と話し合って支援内容を決定します。

学校側にも窓口となる教員（地域連携担当教員）を配置すると、連携がスムーズになります。

○ボランティアの募集をします。

募集チラシにボランティアとしてどんな活動を行うか明記し、PTA や自治会に広く配布して、登録してもらいます。複数の活動が用意されていると、登録しやすくなります。

◆活動についてのQ&A◆

○どんな活動が行われていますか？

授業支援やゲストティーチャー、読み聞かせ、登下校の見守り、除草・剪定などの環境整備、部活動指導支援などです。経済的理由などで学習が困難な中学生等を対象とした原則無料の学習支援「地域未来塾」も実施されています。



○学校支援地域本部の成果として

どんなことが挙げられますか？

- ・子供にとっては、多くの活動を通して、コミュニケーション能力の向上など**多岐にわたる成長が実感できます。**
- ・学校にとっては、ボランティアの協力により、**授業内容の充実**に加え、教員の負担が減り、**子供と向き合う時間が増えます。**
- ・またボランティア活動により地域住民の連帯感・親近感が深まり、**新しい地域の絆が生まれます。**

◆活動紹介◆

県内各地で「学校支援地域本部」の活動が行われています。今回は立ち上げから9年目を迎え充実した学校支援活動を行う、野田市の取組を紹介します。

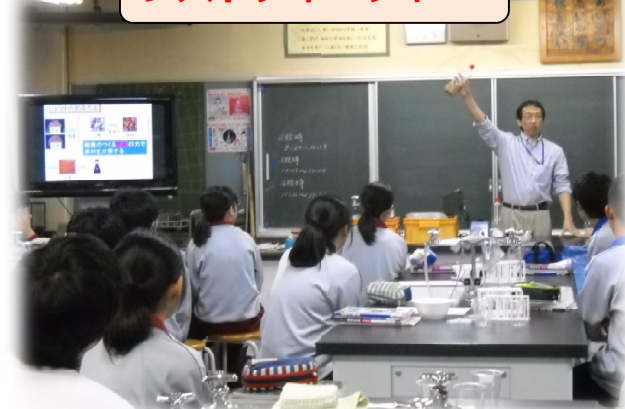
野田市第二中学校区学校支援地域本部

キャリア教育支援



中学生の職場体験の様子です。職場体験や小学生の「ゆめ・仕事ぴたり体験」の事業所選択などキャリア教育全般の外部との連絡調整を本部が行っています。

ゲストティーチャー



地域の方による「わくわく理科授業」（校庭の植物観察）「わくわく音楽授業」（琴の演奏）などの授業が行われています。



連携協力

第二中学校区学校支援地域本部

野田市立第二中学校・宮崎小学校



＊環境ボランティア＊

学校内の花壇の整備を行っています。科学部の生徒とともに菊の栽培も行っています。

このほかに、**部活動支援ボランティア**や**図書ボランティア**など、第二中学校区学校支援地域本部では様々な学校支援活動が行われています。ボランティア登録人数は40人、年間の活動日数は、のべ479日にのぼっています。幅広い支援を行う中で、ボランティアはやりがい・生きがいを感じながら、日々パワフルに活動しています！

<問合せ先> 千葉県教育庁教育振興部生涯学習課 学校・家庭・地域連携室

TEL 043-223-4167 ホームページ

千葉県学校支援地域本部で検索